

講演 I :

Web による利用者からの動物の注文と実験室の予約

松田 幸久

(秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター動物実験部門)

当部門では 1997 年 3 月よりホームページ (HP) を開設し、学内 LAN (Web) を利用しての部門利用者へのサービスの向上と部門側の事務作業の省力化を試みてきた。

当部門の HP を見られた方も多いと思われるが、この HP は学外からも見ることができるものと学内専用の 2 つのサイトに分けられている。サイトを分けた理由は学内者にとっては重要であるが、学外者にはあえて知らせる必要のない情報があることや学内の動物実験関係者に動物福祉に基づいたきめの細かい研究支援を行うためである。

学内専用のサイトは部門が維持しているサーバー (Gateway performance (Gateway 社製)) を、学外からも見ることができるサイトは大学が維持しているサーバーを利用している。

今回の発表では表題を「Web による利用者からの動物の注文と実験室の予約」としたが、本研究会の会場が秋田大学であることから、この際に学内でしか見ること (あるいは利用すること) ができないサービスについても紹介し、また演者の一人から Web の利用とは無関係であるが、部門利用料金の算出ソフトに関しても触れて欲しいとの依頼があったためそれについても紹介する。

【部門から利用者への通知】

使用ソフト : Adobe Golive CS

これに関しては第 47 回日本実験動物学会総会 (徳島 2000 年) で「動物実験施設の運営におけるインターネット利用の試み」として紹介したが、今回は特に学部内のみの情報サイトについてお話しする。

- ・ 部門だより (月 1 回発行)
- ・ 新規導入実験機器説明会、停電、工事、断水等の情報 (随時更新)
- ・ 利用者から購入依頼された動物の搬入日・収容場所 (毎週更新)
- ・ マウス・ラット各室のモニタリング成績 (3~4 ヶ月毎に更新)
- ・ 研究支援情報 (麻薬の取扱い、動物の移動法等)

【入退室管理システム】

三菱入退室管理システム MELSAFETY-P 指紋認証タイプ

部門入り口、SPF 区域入り口、感染実験区域入り口に電子錠に直結した指紋認証装置を取り付け、利用者の出入りを管理している。そこから得られたデータは部門の年間利用者数として利用される。また、SPF 区域入館者のデータは部門利用料金を計算する際に利用される。

【動物購入及び実験室予約システム】

サーバーソフト：Linux(Apache)、プログラム言語（PHP）

このシステムに関しては第 52 回日本実験動物学会総会（東京 2005 年）で「学内 LAN を利用した動物購入及び実験室予約システム」として紹介したが、これに関しては実際に PC 上から見ていただき、さらにデータベース化された情報を利用した事務作業の省力化についてもお話する。

【利用料金計算システム】

使用ソフト：Microsoft Office Excel

このシステムは動物購入システムのデータ、実験室予約システムのデータ、入退室管理システムのデータ、そして利用者から出された退舎伝票をもとに各講座の 1 ヶ月間の部門利用料金を算出するために使われている。各システムのデータはデータベース化されているものの、それらのデータは利用料金計算システムに連動されていないため、手入力となり煩雑な作業である。その入力作業を具体的にお話するが、今後の改善のためのアドバイスをいただければ幸いである。

なお、これらのシステムのうち入退室管理ソフト以外全てのシステムは、今回座長を務める藤澤進氏により開発されたものであり、当部門の機能強化に対するご協力に対しここに深謝する。

【動物実験計画書審査システム】

サーバーソフト：Linux(Apache)、プログラム言語（PHP）

このシステムに関しては第 50 回日本実験動物学会総会（大宮 2003 年）で「学内 LAN を利用した動物実験計画書の審査システム」として紹介したが、諸般の事情から学内 LAN (Web) を利用した実験計画書の審査システムは停止しており、現在は Email 添付による実験計画書の提出、審査を行っている。そこでここでは Web システムと Email 添付との長短について比較しお話する。